

令和2年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

国においては、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、高齢化率が30%を超えるとしており、急速な少子高齢化の進展に伴い、複雑・多様化した福祉ニーズに対応するため、地域住民一人ひとりの支え合う共生社会の実現により、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりのため、社会保障と税の一体改革をはじめとする一億総活躍社会に向けての様々な取り組みを進めております。

本市域では、東日本大震災から9年が経過し、産業基盤やインフラ整備が着実に進み、被災された方々の応急仮設住宅からの転居が終了する見通しとなりましたが、労働環境や少子高齢化の進展に伴い、世帯構成の変化等の生活環境が大きく変わりつつある中、「生活困窮等を訴える方」、「複合的な課題を抱えている方」や「社会的に孤立している方」等が増加することが予想され、これら福祉課題に地域としてあるいは気仙沼市社会福祉協議会としての取り組む姿勢が問われている状況にあります。

気仙沼市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する民間団体として、子供から高齢者まであらゆる方々と多様な地域課題やニーズへ対応し、「誰もが住み慣れた地域で自分らしく生きいきと暮らせる地域での共生社会づくり」のため、地域住民とともに歩むことを基本とする第3期地域福祉活動計画を気仙沼市と連携して策定し、その実施に取り組んでおります。

地域課題である共生社会の実現に向けて、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）と連携して開催している地域懇談会では、地域活動を担う人材確保や育成が重要な課題として挙げられており、本会としては、新たなコミュニティでの生活が加速する中であっても、被災者を含めた小地域ネットワークの再構築と強化が必要との認識に立ち、世代間交流による話しやすい場づくりと地域のリーダーの発掘に努めながら、幅広い年代の方々がボランティアとして関わられるような意識の醸成等、気仙沼市社会福祉協議会の果たす役割も大きくなっております。

事業推進に当たっては多くの人材と財政負担が必要であります。本会の財政基盤は脆弱であり、その根幹をなす介護保険事業や障害者支援事業に関しては厳しい経営状況であることから事業の統合や撤退を余儀なくされておりますが、インフォーマルなサービスとの連携を視野に入れ、法令を遵守した利用者個々の尊厳を基本に安心してサービスを受けられる体制を整備し、良質できめ細やかなサービス提供に努め、利用者やその家族との信頼関係を築き、財政基盤を確立して安定的な事業運営に努めてまいります。

指定管理事業は自立支援事業3事業、介護保険事業3事業、受託事業2事業の合計8事業となっておりますが、このうち7事業所が今期指定期間の最終年度となることから、経営状況を鑑み、次期の指定に向け判断してまいります。

本会としては、地域社会を取り巻く環境を十分に認識するとともに、ガバナンスの強化と職員のコンプライアンスのさらなる醸成を図り、経営状況を適切に判断して責任と透明性のある運営に努めて社会的使命を果たしてまいります。

【重点目標】

1 地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画の推進に当たっては、地域福祉活動を担う人材の発掘や育成、住民が参加しやすいサロン活動等への支援、地域課題の把握と解決に向けた活動への支援などに取り組みます。

(1) 地域福祉活動推進のための担い手育成の強化

地域福祉活動を推進していくうえで、地区社協をはじめ活動の担い手をどのように育成していくかが重要な課題ではありますが、解決のためには地道な取り組みが必要であることから、地域関係者の方々と共に考えながら、取り組んでまいります。

(2) 地区社協等の活動支援

地区住民を中心とした組織として、地域で福祉活動を行っている地区社協への支援は、本会業務の大きな柱であります。

小地域福祉活動への助成を継続して行い、地区社協が地域活動拠点として機能できるよう、運営に対して支援を強化してまいります。

(3) 災害公営住宅等のコミュニティ活性化のための支援

東日本大震災から9年が経過し、災害公営住宅等においては、自治会の結成や周辺自治会への加入が進んだものの、リーダーの選出等の課題が浮き彫りになってきております。

本会としては引き続き関係機関や支援団体との連携の下、活性化に向けた支援を継続してまいります。

2 地域共生社会の実現に向けた取り組みの拡充

(1) 地域包括ケアシステム構築への取り組み

地域共生社会の実現には地域包括ケアシステムの理解が不可欠であることから、地区社協と連携しての懇談会を開催する等、地域での課題の共有と併せ、不足しているサービス資源発掘に向けた活動を推進してまいります。

3 介護保険事業・障害福祉サービス事業への対応

本会の財政基盤を支える介護保険事業や障害福祉サービス事業にあっては、近年の利用者の減少に伴って、報酬の減収が続いており、事業の統合や廃止を検討せざるを得ない状況にあることから、経営健全化に向けた取り組みに努めます。

4 指定管理事業への対応

指定管理施設においては、市民から親しまれ、利用したい施設を運営の基本として、本会の特性を活かした良質なサービス提供に努めることとするものの、運営状況を直視して次期の指定に向けた検討に努めます。

5 組織体制改革と経営基盤の強化

厳しい社協運営が続く中、社会福祉法人に求められているコンプライアンスの徹底とガバナンス強化に向けた組織体制の改善と経営基盤の強化に向けて、職員の人材育成や広報活動の充実、財源確保に努めます。

(1) 社会福祉法人制度改革への対応

令和元年度の監査委員から指摘があった法人運営や財務会計に関する管理体制に係る課題等のチェックを行い、適切な事務・事業執行に必要な規程を定め、内部統制の強化に向けた取り組みを進めます。また、働き方改革については、労働条件の見直しのほか、業務全般にわたり効率化を図るなどの取組みにより、働きがいのある職場・働きやすい職場の実現を目指します。

(2) 組織の見直しと経営基盤の確立

本会の財政基盤は脆弱であり、介護保険事業や障害福祉サービス事業へ頼らざるを得ない状況にありますが、利用者の減少による収入の減少が続いていることから、組織再編とともに自主財源の確保を図り財政基盤の確立に努めます。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに進めていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会2回 理事13名以上16名以内、評議員28名以上33名以内 当初予算額 627,000円
評議員会の開催	
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事3名以内 当初予算額 168,000円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。また、研修会への参加等により、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。
委員会の開催	社協運営に関する意見を聴するため、企画経営委員会、地域福祉推進委員会を開催します。

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、第3期地域福祉活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を開催し、各地区社協の代表委員において、第3期地域福祉活動計画で掲げた具体的取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。 ・地域福祉活動計画の推進に向けて、職員が地域に出向く際には積極的な計画内容の紹介と併せ、分かりやすい広報の検討と周知により、市民、地域・事業者等へ広く啓発し、計画の理解と地域福祉活動への参加促進を図ります。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 617,000円

<p>地区社協活動への支援</p>	<p>地区社協会長会議を開催し情報提供や意見交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年3回開催し、情報共有と意見交換を行ないます。また、福祉のコミュニティづくりに向け、各地区社協の課題を把握すると共に、解決に向けた支援に取り組みます。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 445,0000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 <p>当初予算額 法人運営事業の内 2,229,000 円</p>
<p>ふれあい相談センターの運営</p>	<p>ふれあい相談センターで市民の課題解決に向けた相談を受けます。</p> <p>法人内事業所の協力による情報共有会議の開催、宮城県サポートセンター支援事務所の協力による専門相談、相談員連絡会議の開催、移動相談の実施等、地域のニーズを発掘し、重層的な支援ができる体制を形成し、住民の相談に対応できるよう相談所事業機能の活性化を図ります。また、各種研修会に参加し資質向上に努めます。</p> <p>【気仙沼地区】 気仙沼市社会福祉協議会本所にて、月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前9時から午後3時まで開設します。</p> <p>【本吉地区】 気仙沼市社会福祉協議会本吉支所にて、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで開設します。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,841,000 円</p>
<p>小地域福祉活動の推進</p>	<p>誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う、小地域福祉活動の推進に努めます。また、生活支援体制整備事業と、支えあう地域づくりの目的が合致することから、地域支え合い推進員・地域支え合い協力員及び住民懇談会（協議体）を包含する形で推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協圏域での住民懇談会（協議体）の開催により、地域福祉活動や社会資源の共有、また地域課題などを話し合うことで、住民主体の支えあい活動が推進するよう支援に努めます。 ・様々な地域課題の解決に向け隣組から自治会・振興会、地区社協、地域、全市など重層的な支え合いの仕組みづくりを進めます。 ・震災後の新たなコミュニティづくりの支援を通して、近隣で支えあえる関係づくりの構築を目指します。 ・地域福祉活動に携わる人材育成を目的とした研修会を開催します。 ・地域福祉推進フォーラムを開催し、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協を指定し、住民が元気に活躍できる地域づくりと支えあいの活動の充実・強化を図ります。 ・小地域福祉活動補助金を交付し、活動の円滑な運営を図ります。

	当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,528,000 円 福祉育成援助活動事業の内 1,100,000 円
地域包括ケアシステムの構築推進	気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランに基づき、構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組みます。
広報・啓発	社協の活動や地域福祉に関する情報を発信します。 社協だより 年 6 回「気仙沼市社協だより」を発行し（全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービス等の情報提供を行うことにより、住民の地域福祉活動への参加を促進します。 ホームページ ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野のタイムリーな情報発信を行います。 当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 2,964,000 円
本吉地域福祉まつり	『みんなでいろんな輪をつくろう』を開催テーマに、市民が楽しく主体的に集うことで、より福祉を身近に感じるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう一人ひとりの自発的な行動と、共に支えあうことについて考え、理解を深める場として開催します。特に地域福祉推進に向けた重層的な地域の支え合いの仕組みづくりを進めるにあたって、市民の理解が深まる場となるよう企画と運営で工夫を行います。開催月：6月 当初予算額 福祉育成援助事業の内 359,000 円
本吉地域ひまわり会交流事業	一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的に、地区社協やボランティア団体及び本吉響高等学校の協力を得て、公民館等を活用しながら年 4 回実施します。また、より多くの参加が得られるよう事業の在り方について検討します。 実施月：7月、10月、12月、3月 当初予算額 206,000 円
子育て支援交流事業	関係機関や地元企業、地域組織と連携したイベントの開催や地域の方々とふれあう機会を設けながら、地域で子供を育てる環境づくりに取り組みます。 当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 224,000 円
高齢者交流会	高齢者の一人暮らし及び高齢者のみの世帯を対象に、生活の質の向上と仲間づくりを目的とした事業を実施します。 当初予算額 老人福祉事業の内 50,000 円
善意銀行の運営	市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。 当初予算額 301,000 円
屋内ゲートボール場の運営	市民の健康増進、スポーツ振興及び福祉向上のため、管理運営委託先である気仙沼市ゲートボール協会と連携し、適切な施設の維持管理に努めながら利用促進と併せ、施設の利活用を検討します。 当初予算額 900,000 円

気仙沼市市民福祉センター管理・運営	気仙沼市市民福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民相互交流及び高齢者並びに障害者の自立促進及び健康増進を図るため、本会が行う事業及び福祉団体等が行う事業等と連携し、センターの効果的な活用に努めるとともに、施設の適正かつ円滑な運営に努めます。 当初予算額 16,125,000円
-------------------	---

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等への一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

事業名	内 容						
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	<p>ボランティア意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との繋がりの中で、共に豊かに暮らすことのできる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等のほか、ボランティア育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。 ・ボランティア意識の啓発を図り、地域福祉やボランティアに携わる人材のすそ野を広げ、地域力の向上を目指すために多様なボランティア講座や交流会等を開催します。 ・広報誌等を活用したボランティア活動関連の情報提供を行いません。 <p>ボランティアセンターの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に備え災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催し、機能強化に努めます。 <p>ボランティアへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが安心して活動できる環境を整備するために、ボランティア保険の加入促進に努めます。 <p>当初予算額</p> <table data-bbox="478 1523 1212 1675"> <tr> <td>ボランティア活動育成事業の内</td> <td>2,301,000円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいのまちづくり事業の内</td> <td>313,000円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアセンター事業</td> <td>259,000円</td> </tr> </table>	ボランティア活動育成事業の内	2,301,000円	ふれあいのまちづくり事業の内	313,000円	ボランティアセンター事業	259,000円
ボランティア活動育成事業の内	2,301,000円						
ふれあいのまちづくり事業の内	313,000円						
ボランティアセンター事業	259,000円						

4. 福祉教育

市内小・中学校、高校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒への福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>地域と連携した福祉学習の開催、擬似体験や認知症に関する学習等の福祉学習プログラムの提供、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで思いやりの気持ちを育み、地域で学び合う中で福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。</p> <p>福祉教育活動費補助金交付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉教育に取り組む学校に対し、活動費を補助することで継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。 <p>当初予算額 ボランティア育成活動事業の内 414,000 円</p> <p>福祉教育、企業、団体への職員派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 機会を捉えて市社協職員を派遣し、福祉への理解を深めることや地域活動に対する意識の啓発を行い、地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。 <p>行事参加協力調整事業（高校生ボランティア等の活動調整）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の福祉施設等からボランティアの調整を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募り、福祉への理解と協力が深まるよう努めます。 <p>敬老作文コンクール事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学生を対象とした敬老作文コンクールを実施し、高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。 <p>当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 326,000 円</p>

5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	<p>低所得世帯等の生活の安定と経済的自立を図られるよう、担当民生委員や自立相談支援事業所等と連携しながら、必要な相談支援を進めます。また、借受世帯の生活実態の把握に努め、各関係機関と連携しながら世帯の自立に向けた支援に取り組むとともに、償還への働きかけを行います。</p> <p>当初予算額 3,806,000 円</p>

生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸付けることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、滞納している借受世帯に関しては、担当民生委員と情報共有を図りながら、償還への働きかけと併せ、生活課題の解決に向けた取り組みを行います。 当初予算額 231,000 円
------------	--

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	被災した低所得世帯の生活の再建を支援するため、必要な資金の貸付と相談支援に取り組みます。また、借受世帯については、引き続き定期的に状況を確認しながら、担当民生委員と連携しながら適宜必要な支援と生活課題の解決に向けた取り組みを進めます。
特例緊急小口資金貸付事業	震災発生時に貸付を行った資金の債権管理と借受世帯の生活再建状況に応じて、宮城県社会福祉協議会と連携しながら引き続き償還への働きかけを行います。

6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内で発生した火災による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 30,000 円
歳末たすけあい募金配分事業	住み慣れた地域で暮らしていくための様々な支えあい活動が展開できるよう民生委員・児童委員、地区社協等との協力や行政との連携に努め、地域の状況を確認しながら、募金趣旨に沿えるような配分に努めます。 当初予算額 7,910,000 円
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故含む。）により扶養していた父母の一方または両方が死亡した満 18 歳以下の高校在学までの者に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努めます。 当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 338,000 円

7. 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援や情報提供に努めます。

事業名	内 容
日常生活自立支援事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（呼称：まもりーぶ気仙沼・南三陸）	判断能力が十分でない方の日常的な金銭・書類管理や見守り等の活動を通して、住み慣れた地域で安心して生活できるよう住民の権利擁護のため、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築、事業所に対する本事業の共通理解・促進、専門員と生活支援員の人材育成、事業実施主体である宮城県社会福祉協議会間との事業内容の整合性を図りながら、事業の実施に努めます。 当初予算 9,424,000 円
障害者福祉の推進	障害者福祉活動事業（障害者との交流） ・当事者の社会参加を促進するとともに、地域の方々との交流を通して相互理解を深めることを目的に専門機関と連携し取り組みます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 110,000 円 録音サービス事業 ・視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループや高校生ボランティア等の協力により「広報けせんぬま」や「気仙沼市社協だより」等を朗読録音したテープを、希望者に配付することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報提供に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 11,000 円 点訳サービス事業 ・視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報提供に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 10,000 円
ガイドヘルパー派遣事業	視覚障がい者の社会生活を支援し、視覚障がい者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、養成講座や連絡会等を開催し、人材の育成と資質向上に努めます。 当初予算額 障害児者福祉活動事業 302,000 円

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等関係法令を遵守し、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (就労継続支援B型事業)	利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、指導を適切かつ効果的に提供するように努めます。就労移行支援事業の新規利用者が見込めないことから令和2年度は事業を休止とし、就労継続支援B型事業については利用者の減少に伴い定員を40人以下に変更するとともに、臨時開所日を設けるなどして、利用率の向上を図り、安定経営に繋がるように努めます。生産活動に関しては、菓子製造施設の整備と拡充に努めるとともに、生産活動の増収を図り、利用者の支払工賃が増加になるように努めます。 当初予算額 72,093,000円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業所)	障害を持つ利用者一人ひとりが安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう関係機関と連携を深めながら支援していきます。利用者の意志を尊重した活動を通じて生活経験を重ねながら、その持つ力により自らが抱える問題の解決や自身の生活の向上を図ります。障害者虐待への意識付けや法令等に関して役割に責任を持ちながら適切に対応します。また、健康管理、排泄及び食事の介護、生産活動等適正なサービスの提供に努め、施設と地域住民とのふれあい交流活動に取り組むことにより、地域の身近な福祉施設を目指します。個々の障害特性に配慮するとともに、各年齢層への心身の状況に適したサービスの提供に取り組みます。 当初予算額 56,909,000円
気仙沼市マザーズホーム (児童発達支援)	障害特性や年齢に配慮し、個人ごとの発達課題を見極めながら、自立に向けた身体作りや手先の器用性を高める活動に重点を置いて取り組み、集団生活での適応能力を育てるように努めます。 当初予算額 13,875,000円
気仙沼市マザーズホーム (放課後等デイサービス)	子どもの自己選択や自己決定意識を促し、それを支援するプロセスを大切にす る取り組みを行います。学校休業時には、豊かな生活が送れるような活動を提 供し、友達と関わりながら、葛藤を調整する力、主張する力・折り合いを付け る力が育つように取り組みます。 当初予算額 20,000,000円

<p>気仙沼市マザーズホーム (保育所等訪問支援事業)</p>	<p>保護者に周知するとともに、訪問先機関（保育所・幼稚園・認定子ども園・小学校・中学校）へ保育所等訪問事業の必要性やその支援内容についても説明し、理解を得るように努めます。また、関係機関との連携を大切にし、保護者・訪問先機関の職員との信頼関係を保ち、安心して利用できるように努めます。 当初予算額 2,420,000円</p>
<p>気仙沼市マザーズホーム (宮城県障害児等療育支援事業)</p>	<p>事業内容の周知及び発達障害者支援センターと連携した相談支援、研修会の開催、療育教材、家族支援を行います。気仙沼支援学校と連携し、ペアレントトレーニングにも取り組み、地域で身近な療育相談の場になるように努めます。 当初予算額 3,960,000円</p>
<p>松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)</p>	<p>利用者又は保護者からの意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立ちながら、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう配慮し、心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスが総合的に提供されるよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。 当初予算額 1,575,000円</p>
<p>指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）「つばさ」</p>	<p>利用者が地域で自立した社会生活を営むことができるよう、当該利用者の心身の状況並びにその置かれている環境に応じ、共同生活住居において安心した地域生活ができるよう、相談、食事その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めます。 当初予算額 6,296,000円</p>
<p>気仙沼市ホームヘルプサービス事業所</p>	<p>利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画を策定し、適正なサービスの提供に努めます。研修受講や伝達研修により、専門知識の習得の機会を設け、従業者の資質向上を図ります。また、従業者の人材及び利用者確保に鋭意努力し、算定可能な介護報酬加算を積極的に取得し事業所の安定経営に努めます。 当初予算額 4,073,000円</p>
<p>訪問介護ステーションからくわ</p>	<p>利用者の尊厳ある生活が継続できるように心身、生活機能の維持、向上を図ります。また、利用者の気持ちに寄り添ったケアを心掛け、安心安全に地域で過ごせる環境作りに努めるとともに、各関係機関と情報を共有し、より良いサービス提供のため、研修を通して職員全体で学び、専門的知識、技術の習得に取り組みます。 当初予算額（居宅介護） 1,013,000円 （同行援護） 2,428,000円</p>
<p>ヘルパーステーションもとよし</p>	<p>障害を持った方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、継続的に利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り、真のニーズを見つけ出し、研修等にも力を入れ、専門性が高いきめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。また、同行援護サービス提供体制を強化するとともに、関係機関との連携を密にし、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。 当初予算額（居宅介護） 3,630,000円 （同行援護） 2,176,000円</p>

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし	住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるよう、利用者と家族の意向を尊重しながらケアを提供していきます。心身の状況の変化に留意しながら適切な対応ができるよう研修等を強化しサービスの質の向上に努め丁寧なケアを行います。また、関係機関との連携を密にして、多くの方に利用していただけるよう周知活動に取り組みます。 当初予算額 1,219,000 円

8. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点を置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外へ移動困難な方や車両の確保が困難な方等に対し、依頼に基づきリフト付ワゴン車の貸出や移送を行います。また、地域の情勢をみながら今後の事業について検討します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 295,000 円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防と、高齢者同士又は地域ボランティア等との交流を通して、住民同士が支え合う地域づくりを推進するため広く事業の周知を行います。 当初予算額 老人福祉活動事業 730,000 円
安否確認訪問サービス事業	一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じて声掛け訪問による安否確認を行います。 当初予算額 75,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 23,000 円

(2) 老人福祉センターの指定管理

高齢者が健康で豊かな生活が送れるよう各種相談や地域の方々との支援等により、生きがいつくりや自立生活の支援に取り組みます。

センター名	内 容
気仙沼市老人福祉センター 福寿荘	気仙沼市の条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制を充実させます。各集いの利用者が心身ともに健康的な生活を継続していけるよう、関係機関の協力し、介護予防啓発講座等を通じて、知識や教養を高めるとともに、利用者間の交流を深め、生きがいをもって生活ができるよう支援に努めます。また、各事業の内容を充実させながら、若年高齢者の利用促進に努めます。貸館の施設利用者、老人クラブ利用者にとっても、安全で居心地の良い環境となるよう施設の維持管理に努めながら、利用者の声や多様化する福祉ニーズに応えられるよう職員の資質の向上に努め、地域に根ざした施設づくりに努めます。 当初予算額 19,300,000 円

(3) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護又は支援を要する高齢者等が可能な限り在宅生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざし、さらには事業の採算性に留意するとともに、サービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	要介護または要支援状態になった場合においても、可能な限りその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の立場に立ち、一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅介護支援等の提供の充実強化を行います。また、管理者と介護支援専門員との業務の相互チェック体制により、指定事業所として運営基準に則った適正な事業運営を図ります。なお、主任介護支援専門員配置等による算定可能な介護報酬加算を積極的に取得し、事業所の安定経営に努めます。 当初予算額 31,161,000 円

津谷居宅介護支援事業所	<p>利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方を繋げるとともに、医療との連携も積極的に行い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。本人はもとより取り巻く環境にも支援が必要な場合もあり、広く目を向け、生活全体を支援できるよう取り組みます。また、職員一人ひとりが信頼されるサービスを提供できるよう、更なる質の向上に努めます。</p> <p>当初予算額 27,706,000 円</p>
-------------	---

②訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	<p>利用者が有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう、適正な訪問介護計画を策定し、利用者や家族との定期的なモニタリングを通して、よりきめ細やかなサービスを提供します。事業運営に当たっては、業務の相互チェック体制を取り、常に指定基準等の法令遵守による業務を行います。また、人材確保に鋭意努力し、利用希望に応えうる人員体制整備と算定可能な介護報酬加算を積極的に取得し、事業の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 21,086,000 円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立って、質の高いサービスの提供に努めます。また、利用者ができることを活かし、ゆとりある生活を送ることができるよう心身・生活機能の向上を目指します。関係機関、地域の保健・医療の専門職との連携をより深め、適切に対応します。また、各種研修を通じ、職員の自己の向上に励み、安心して働ける環境作りに取り組みます。</p> <p>当初予算額 25,736,000 円</p>
ヘルパーステーションもとよし	<p>住み慣れた地域や在宅での安心生活が継続できるよう、利用者及び家族とのつながりを大切に、きめ細やかで質の高いサービス提供を行い、日常的に知識と介護技術のスキルアップに努め、介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら介護実習生の受入も行い雇用につながる機会づくりを検討していきます。事業管理を徹底し、効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組み、多職種との丁寧な連携をさらに充実させ、在宅生活を支えていきます。</p> <p>当初予算額 39,233,000 円</p>

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし	<p>住み慣れた地域で安心して心地よい在宅生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向に寄り添いながら、きめ細やかで質の高い丁寧なサービス提供に努めます。医療や他事業所との連携を密にし、全身状態の変化に早期に気づき適切に対応をしていきます。入浴の時間が利用者及び家族に喜びを感じていただけるよう、ケース検討や研修等への参加、介護技術・コミュニケーションや接遇、マナー向上に努め心身状況を把握しながらケアを継続していきます。また、多様なニーズや様々な感染症の予防対し、適切な衛生管理の徹底により全ての方に安心して気分良く入浴していただけるようなサービス提供に努めます</p> <p>当初予算額 23,500,000 円</p>

④通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燦さん館デイサービスセンター	<p>利用者の心身の状況、生活環境、利用者及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担を図ります。入所・ショートステイなど、通所以外のサービスを利用する家族が増えてきたことにより利用者減、収入減となっていることから、サービス内容を見直し、さらに利用者一人ひとりに今まで以上の質の高いサービス提供を行い、利用者及び家族との信頼関係をさらに強固なものにし、地域に愛され、選ばれる施設づくりに努めます。また、介護事故、車輛事故を起こさないよう常に細心の注意を払いサービス提供に努めます。</p> <p>当初予算額 74,244,000 円</p>
気仙沼市福寿荘デイサービスセンター	<p>要介護状態等にあっても可能な限り在宅生活が持続できるよう、利用者及び家族のニーズに沿った適切な介護サービスを提供し、要介護状態の悪化防止や機能維持に努め、関係機関、団体とより一層連携を深めることにより、その介護に当たる家族等の介護負担軽減のため支援に努めます。</p> <p>当初予算額 36,216,000 円</p>
やすらぎデイサービスセンター	<p>利用者が可能な限り、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように支援をして参ります。各種専門研修への参加も継続し職員の資質向上・サービスの接遇向上を行い、利用者様に寄り添った安心・安全なデイサービス運営をしていきます。在宅福祉サービスの存在が大きく求められる中で、地域の方々や団体、各関連機関との連携を密にして地域社会に根差した楽しみや生き生きと過ごせる場を提供して社協ならではの施設運営を心掛けて参ります。</p> <p>当初予算額 38,007,000 円</p>

大谷デイサービスセンター	<p>利用者一人ひとりの心身の状態に配慮した安心安全なサービスの提供と、できる力を生かし、「食べる」ことの楽しみと重要性を周知し、日々の活動に生かしながら機能の維持向上に努めます。また、家庭等での支援の提案も随時行いながら居宅での生活が維持できるよう働きかけを継続します。音楽療法を継続しつつ、支援体制の整備に努め、地域との交流を継続し、相互理解と地域での支援につながる機会を設定します。年2回の施設開放日を継続し、各種体験や相談等を連携して実施し、地域のニーズを把握しながら、つながりづくりの一助となり拠点施設としての機能の確立に努めます。</p> <p>当初予算額 34,728,000 円</p>
--------------	---

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 桑の実	<p>施設理念である「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします。」を念頭に、入居者個々の尊厳を大切にし、個別ケアの実践、自己決定の尊重、自立した日常生活の支援を行い、お互いが理解し合い信頼関係が築けるように努めます。また、家族や地域との結びつきを継続することで、住み慣れた地域で双方が心穏やかに安心して生活できる支援を行います。各種研修会や内部研修により専門性を備えた職員の育成を図り、適正なサービスを提供し、地域に必要とされる施設運営を目指します。</p> <p>当初予算額 35,571,000 円</p>

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>新たに導入する特定福祉用具販売事業と合わせて住環境整備の提案を行い、利用者が安心して在宅生活を送れるよう、多職種と連携しながら適切な福祉用具の選定、援助、アセスメント等を利用者の立場に立ち誠実かつ丁寧に行っていきます。さらには、社協の介護保険事業所として、事業所の専門性を地域づくりに活かすなどの付加価値にも積極的に取り組んでいきます。</p> <p>当初予算額 13,598,000 円</p>

⑦特定福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>新たに特定福祉用具貸与事業を導入し、福祉用具貸与事業と合わせて住環境整備の提案を行い、利用者が安心して在宅生活を送れるよう、多職種と連携しながら適切な福祉用具の選定、援助、アセスメント等を利用者の立場に立ち誠実かつ丁寧に行っていきます。さらには、社協の介護保険事業所として、事業所の専門性を地域づくりに活かすなどの付加価値にも積極的に取り組んでいきます。</p> <p>当初予算額 341,000 円</p>

9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
生活支援型食事サービス事業	<p>食事の調理が困難等の高齢者に対し、定期的に食事を提供することで、生活上の負担軽減を図るとともに安否確認を行います。また、来年度以降の事業実施について、市と協議します。</p> <p>当初予算額 4,292,000 円</p>
生活支援体制整備事業	<p>互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の啓発と充実・発展を目指し、広報等による活動の視覚化及び関係機関・団体と連携しながら、相談対応に努めます。 ・「～けせんぬま地域活動団体紹介～あつまっページ」を作成し、専門機関等に配付することにより、活動の理解促進を図ります。 ・地域活動や社会資源の把握に努めるとともに、地域課題の共有とその解決に向け住民や関係機関等と一体となり取り組めるよう、住民懇談会(第2層協議体)等の開催を支援します。 ・地域支え合い協力員の発掘と養成に努めます。また、研修会受講等を通し地域支え合い推進員の資質向上を図ります。 <p>当初予算額 生活支援体制整備事業 5,863,000 円</p>
「絆」再生事業	<p>被災者と地域コミュニティとの繋がりを支援し、交流活動の実施や支援をするとともに、新たな住まいや地域等での孤立化の防止や見守り、関係機関への連絡、総合相談を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災された方が新しい地域に馴染み生活ができるよう繋ぎ役に努めます。また、行政等の関係機関をはじめ、地域支援団体等と連携調整を図りながら交流会の開催など、地域住民が共に支え合える関係を構築するコミュニティづくりを支援します。 ・各地区社協と地域住民等の話し合いの場を作り、住民の課題解決に向けた取り組みに努めます。 ・支援団体等との連携を図り、地域の特性に合わせた支援に努めます。 ・各種研修会等に参加して職員の資質向上を図り、適切な支援が行えるよう努めます。 <p>当初予算額 77,000,000 円</p>

<p>気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業</p>	<p>気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転団地において、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声がけ・相談等を行います。また、コミュニティの行事等へ参加勧奨等の援助により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。併せて、介護予防や生活困窮等への対応等必要な援助を心がけ、関係機関等に速やかにかつ的確に繋ぐことができるよう、地域の拠点機関としての充実強化を図ります。さらには、生活援助員が相談等に適切に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。</p> <p>当初予算額 17,405,000 円</p>
<p>気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター</p>	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図ります。「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に沿った取り組みを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」への参加や「認知症サポーター養成講座」「認知症介護家族交流会」等を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進していきます。 ・「地域ケア会議」や「唐桑地区多職種連絡会」を通じて、地域の専門職や地域の関係者と連携しながら、高齢者の課題解決に取り組んでいきます。 ・関係機関と連携して地域の「フレイル予防」に取り組んでいきます。また、生活支援体制整備事業として、地域支え合い推進員や地域の関係者と連携して、高齢者の多様な生活ニーズの把握やサービスの創出の必要性について普及啓発を行います。 <p>当初予算額 30,578,000 円</p>
<p>気仙沼市本吉地域包括支援センター</p>	<p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図り、地域包括ケア構築に向けた積極的な取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症初期集中支援事業や認知症サポーター養成講座・認知症家族懇談会・認知症カフェの開催、支援を継続していきます。 ・利用者の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法を介護支援専門員と相談しながら作成し、住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。 ・安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。

	<p>・生活支援体制整備事業として、市が設置する協議体や地域支え合い推進員と連携しながら地域住民と交流し、みんなで支え合う地域づくりに取り組みます。</p> <p>本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等の医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみの支援ができるよう、住民等への理解を深める取り組みを積極的に進めます。</p> <p>当初予算額 28,934,000 円</p>
生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）	<p>高齢者の社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図るため、慣れ親しんだ地域の方々との交流を大切に趣味活動などの提供プログラムの充実と専門的な健康講話などを積極的に取り入れ、一人ひとりの生きがいや自己実現につながるよう支援を行います。</p> <p>当初予算額 8,094,000 円</p>
家族介護者交流事業	<p>高齢者を在宅で介護している家族に対して、日帰り旅行等を通じ介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放して、参加者の心身のリフレッシュを図ります。また、交流を通じて互いの介護に対する課題解決ができるよう支援します。年4回実施（気仙沼地域2回、本吉地域2回）を目指します。</p> <p>当初予算額 585,000 円</p>
家族介護者教室事業	<p>高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、要介護者の状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。</p> <p>当初予算額 在宅介護リフレッシュ事業の内 59,000 円</p>
外出支援サービス事業	<p>リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との間の移動を支援します。</p> <p>当初予算額 185,000 円</p>

10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	行政担当課と連携し、昨年12月の一斉改選による新体制での運営の支援や民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協が位置づけている広域ブロックとして、南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、昨年12月の一斉改選による新体制でのブロック内の民生委員児童委員活動の推進を図ります。また、事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。

<p>気仙沼市共同募金委員会</p>	<p>新体制での運営委員及び奉仕員を中心に、共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解と協力を得ながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。また、事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。</p>
<p>気仙沼市ボランティア連絡会</p>	<p>気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等開催を支援し、ボランティア活動を推進します。</p>
<p>気仙沼市老人クラブ連合会</p>	<p>老人クラブ活動の活性化を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。単位老人クラブ及び地区老人クラブ連合会が地区の実情に即し活発に活動ができるように支援し、生きがいと活動の充実を図る事業を展開するように努めます。老人クラブは会員数が減少傾向にはありますが、地域の担い手として会員の力が活かせるよう、クラブ同士の交流を深めながら活動の活性化を図るとともに、会員加入促進に取り組みます。また、女性リーダーの育成と各専門部活動の充実強化を図ります。さらに、関係団体と連携を図り高齢者の健康づくり、介護予防を目的とした研修会や実践活動の推進に努めます。</p>
<p>本吉町老人クラブ連合会</p>	<p>心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動への積極的な推進と会員増強運動に取り組みながら、各関係機関や団体等と連携し、クラブ組織の基盤強化を進めます。また、女性リーダーの育成と女性部活動の充実を図りながら、会員が生きがいある、豊かな生活の実現ができるよう事業運営の支援に努めていきます。</p>
<p>本吉町遺族会</p>	<p>気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員生活相談に関する事業など、団体の適正な運営支援に努めます。</p>